



コロナ禍のなかで

放送大学岡山学習センター

客員教授 金 関 猛



もう40年ほど前のことです。あるドイツ人の友人相手に雑談しながら、「人間はもう疫病を克服したんだ。世界規模の感染症の流行なんてありえない」と息巻いていたのを思い出します。何とも浅はかなことでした。二十歳台の若気の至りです。どうしてそんな話題になったのかはもう覚えていません。中世のペスト流行のことを話していたのかもしれません。文明の発達によって、医学も、医療制度も、衛生状態も、中世とはまったく異なる次元に進化したのですから、世界中に伝染病がひろがるとは考えられませんでした。1980年代にはエイズが大きな問題になりました。しかし、多くの悲劇があったにせよ、世界中の人々の生活に甚大な被害が及ぶことはありませんでした。また、危険な感染症がある地域に流行することはあっても、何とか抑え込むことができました。

どうして今のようなことが起きたのか、あるいはそもそも今、何が起きているのか、よくわかりません。わからないことが多すぎます。たとえば、欧米に比べて、日本では死亡者がなぜこれほど少ないのかよくわかりません。その差が政策とか生活習慣の違いだけで説明できるとは思えません。山中伸弥教授は日本人にそなわるファクターXを推定されていて、それには説得力があります。しかし、「X」と言われるのですから、やはり今の段階でそれは謎のままです。また、PCR検査を飛躍的に増やすべきだという議論がある一方で、そんな必要はないという主張もあります。政府は増やすと宣言しておきながら、なぜそれを増やすのにこんなに時間がかかるのかもよくわかりません。徹底的な封鎖によって、感染を封じ込めている国もあれば、長期的、持続的な観点から、あえてそうした政策は採らない国もあります。今のところ全体状況については判断を留保するほかなさそうです。

こんな状況であるからこそ、日常生活において自分で正しく考えて行動することが何より大切です。ネットを開くと、情報は大波のように押し寄せてきます。しかし、その多くは不確実な事柄を断定的に主張しているだけのように思えます。フェイクに惑わされないためには、確実な情報を見極め、それに基づいて理性的、合理的に物事を考えねばなりません。そして、そのための方法を身につけるには不断の訓練が必要です。今、大学で学ぶことの意義を実感しています。

(9月16日記)

contents

【巻頭言】コロナ禍のなかで	1
令和元年度第2学期・令和2年度第1学期「学位記授与式」	2
卒業生からのメッセージ	2
令和2年度第1学期「入学式」	3
歓迎の言葉	3
大学からのお知らせ	3
令和2年度第2学期の学習スケジュール	4・5
次学期の面接授業の科目登録申請について	5

客員教員によるミニゼミ・特別セミナーのお知らせ	6・7
退任教員のご挨拶・行事報告	8
公開講演会のご案内・学習相談においでんせえ	9
学外研修報告	10
赤レンガフォーラム報告	11
サークル活動で学生支援イベントの主催を担当して	11
スケジュール	12

令和元年度 第2学期・令和2年度 第1学期「学位記授与式」

ご卒業おめでとうございます



令和元年度 第2学期・令和2年度 第1学期「学位記授与式」
日時：令和2年9月27日（日）11：00～
会場：岡山大学文化科学系総合研究棟2階 共同研究室

令和元年度 第2学期 卒業生

教養学部

石橋左知子	岡武夫	岡馬隆晶	小野啓子	北村知江
黒住恵子	佐々木正子	清水季之	杉本香織	高沢智美
武田千亜紀	土井清輔	長森栄一	花岡政徳	林正敏
日向浩一	廣瀬芳夫	藤原なをみ	松本昌子	三宅沙侑美
三宅伸明	持川直子	安元敦子	山口奈津美	山野汐織
和田直子				

教養学部41名（敬称略 50音順・了承を得られた方のみ氏名掲載）

大学院

石川慶子 國弘智美

大学院修士課程 3名（敬称略 50音順・了承を得られた方のみ氏名掲載）

令和2年度 第1学期 卒業生

教養学部

家本貴司	上田卓志	大村智恵	奥村律子	織田泰子
絹見由紀子	河野淑子	難波敏明	服部始	服部好子
藤原聖隆	宮地なぎさ	森田弥永子	山口尚重	山田豊子
横山春美				

教養学部32名（敬称略 50音順・了承を得られた人のみ氏名掲載）

卒業生からのメッセージ

卒業に寄せて

教養学部 心理と教育コース卒業 卒業生代表 絹見 由紀子

ようやく卒業の運びとなりました。
私は放送大学の先生方、事務の方々、学生同士との

出会いや交流があったので、長い在籍期間にもかかわらず、卒業することができました。

年齢や背景の違う多才な方々との出会いはどれも印象に残っていますが、私が特に感銘を受けたのは、多くの方が歩まれている人生で困難がありつらい時期を過ごされても、決してそこにとどまらず、『人生は片道切符』だと気持ちを立て直され、再度チャレンジをされたり別の目標を立てたりされ、必ず新たな方向性を見出しておられることでした。私にとってその姿を間近に見ることは、教科書や書物を読むだけではない生きた勉強になり、自分自身の将来を考える参考になりました。

私は学業の楽しみはもちろんのことそれ以外の活動

も大切であると思ひ所属される多才な方々が、これまでの豊かな経験や考え方を活用されつながらや対話を通し、いきいきと活躍をされる様子から多くのことを学びました。そうした状況や環境があることは、岡山学習センターや放送大学の発展につながると信じており、同時に孤立社会・無縁社会ともいわれ、人とのつながりが希薄になりがちで、コロナ禍で変化せざるを得ない今、大きな役割を果たす可能性を秘めているに違いありません。

ありがとうございました！

令和2年度 第1学期「入学式」

入学者180名（大学院13人、教養学部167人）の方が、岡山学習センターにご入学されました。[令和2年10月10日現在]

令和2年度 第1学期「入学式」

日時：令和2年9月27日（日）13:30～

会場：岡山大学文化科学系総合研究棟2階 共同研究室



歓迎の言葉

「ノックせよ！ 知への扉を」

修士全科生 人文学プログラム 網本善光

みなさん、ご入学おめでとうございます。岡山学習センターの網本と申します。修士課程の2年生です。皆さんは、それぞれに目標を持って入学されたことと思います。卒業が目標、または、資格取得が目標、さらには、教養を深める新たな挑戦を目標としている方もいらっしゃるでしょう。

私は、平成16年に科目履修生としてこの大学の門を叩き、全科履修生を経て、現在、修士課程で歴史を研究しています。きっかけは、考古学の知識をアップデートしようと思ったこと。放送教材を見ながらのワクワク感、面接授業で味わった新鮮な驚きを、今もよく覚えています。

そこで感じたのが、放送大学で学ぶことの「ぜいたくさ」です。

社会に出るまでの「学校教育」では、勉強とは「教わる」こと。まさに受け身です。しかし「放送大学」は違います。学部の守備範囲は広く、選択の自由度も高いので、学ぶ意思があり、そして自ら学べば、そこには『知識と知性』の豊かなフィールドが広がっていることに気づくはずですよ。

放送教材だけでなく、熱気伝わる面接授業、学習センターでの交流など、あなたが自ら学ぼうとさえすれば、期待以上に答えてくれるのが放送大学の魅力であり強みです。

ぜひ、積極的に「動いて」、そして『知への扉』を叩いていただきたいと思います。

私たちは、皆さんのノックを心から歓迎します。

大学からのお知らせ

学生証

「学生証」は、単位認定試験受験、図書・視聴学習室の利用、面接授業の追加登録の際などに必要です。学習センター窓口でお渡しいたします。

システム WAKABA に顔写真の登録手続きを行っていない方は、「写真票」（学生生活の葉：巻末様式12）に所要事項を記入のうえ、早めに本部学生課に提出してください。

令和2年度第2学期の
新規入学・継続入学の方

入学許可書を提示してください

有効期限切れの方

有効期限切れの学生証と引き換えます

*詳細は【学生生活の葉】学部P. 18～20 大学院P. 24～28

令和2年度第2学期の学習スケジュール

教務からのお知らせ



10月から3月までの 学習スケジュールをお知らせします。

チェック欄を設けていますので、確認作業にご活用ください。

10
月

放送授業開始

【放送授業開始日】：10月1日（木）から始まっています。
テレビ、ラジオで全15回の放送授業が始まります。

＜オンライン授業を履修される方へ＞

全ての学習をオンライン上で行います。

*学期が始まったら、必ず、授業のページにアクセスし、課題、提出期間を確認して学習をはじめてください。

『学生生活の葉』
(学 部：P.29～)
(大学院：P.41～)

11
月

面接授業の追加登録 (空席は、10月17日(土)12時～システムWAKABAで確認できます)

窓口での申請 10月23日（金）受付初日午前10時までに来所の方を対象に抽選（希望者多数の場合）、それ以降先着順。追加登録申請書に必要事項を記入し、学生証、所定の授業料（1科目：5,500円、つり銭のないようにお願いします。）をお持ちの上、学習センター事務室までお越しください。

郵送での申請 次の①～④を同封して、現金書留で岡山学習センターへ郵送してください。

- ① 学生証のコピー
- ② 追加登録申請書
- ③ 所定の授業料（1科目：5,500円×希望科目数）
- ④ 返信用封筒（長形3号（120×235ミリ））（宛先を明記、84円切手を貼付したもの）

*希望者多数の科目は、直接来所の方を優先します。

2020年度第2学期面接授業時間割表中国・四国ブロック版P8

12
月

通信指導の提出

学期の途中に1回、一定の範囲で通信指導問題が出題されます。
単位認定試験の受験資格を得るために、通信指導の提出が必要です。

【通信指導送付時期】：8月下旬～11月上旬

（印刷教材と一緒に届いています。一部の科目については別に発送する場合があります。）

*11月5日までに届かない場合は、大学本部（TEL：043-276-5111（総合受付））に連絡してください。

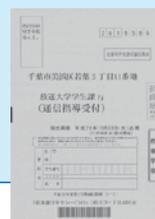
【通信指導提出期間】

郵送による提出の場合：11月17日(火)～12月1日(火)大学本部必着

「Web通信指導」による提出の場合

：11月10日(火)10:00～12月1日(火)17:00

『学生生活の葉』
(学 部：P.66～)
(大学院：P.64～)



1
月

通信指導の結果返送と試験通知(受験票)

【添削結果返送時期】：12月末～1月上旬

【試験通知(受験票)送付時期】：試験日の約1週間前までに送付。

*1月6日（水）になっても、受験票が到着しない場合、あるいは紛失した場合は、大学本部（TEL：043-276-5111（総合受付））に連絡してください。

*添削結果と試験通知（受験票）の到着が前後することがあります。

『学生生活の葉』
(学 部：P.69～)
(大学院：P.66～)

1
月

単位認定試験 2020年度第2学期の単位認定試験は、
日程を変更し、自宅での受験となります。

【単位認定試験期間】：1月13日（水）～1月21日（木）（消印有効）

放送授業を科目登録し、通信指導の合格により受験資格を得た方は、単位認定試験を受験することができます。試験実施方法等の詳細は、郵便や大学ホームページ等で順次お知らせします。

出題範囲：第1回から第15回までの放送授業とそれに対応する印刷教材の範囲です。

2
月

成績通知

【成績通知時期】：2月下旬

放送授業・面接授業・オンライン授業は、

①～Eの6段階評価になります。

※①～Cが合格

合格	①… 100～90点
	A… 89～80点
	B… 79～70点
	C… 69～60点
	D… 59～50点
	E… 49～0点

『学生生活の葉』
(学 部：P.73～)
(大学院：P.70～)

次学期の科目登録申請

■次年度、卒業研究履修可となった方も、
科目登録申請が必要です。

『学生生活の葉』
(学 部：P.60～)
(大学院：P.56～)

次学期に履修する授業科目は、前学期中に科目登録することになっています。

①「システム WAKABA」(インターネット)で科目登録申請する方法と、②「科目登録申請票」を大学本部に郵送する方法があります。どちらか1つの方法で申請してください。重複申請のないようお願いします。

【科目登録申請時期】

①(インターネット)

「システム WAKABA」による申請期間：**2月13日(土)～2月28日(日)**

*インターネットの場合、追加、一部取消は可能です。すべての科目を取り消すことはできません。

②(郵送)

「科目登録申請票」による申請期間：

2月13日(土)～2月27日(土) 大学本部私書箱必着

*郵送の場合、いったん受け付けた申請内容は、追加、変更、取り消しはできません。

*科目登録申請の後、「科目登録決定通知書」が送付されます。

この通知書には、放送授業とオンライン授業と面接授業の履修可能科目について記載されています。

通知書に記載されている授業料を、所定の期日までに必ず納入してください。

*「科目登録決定通知書」が3月15日(月)になっても到着しない場合、あるいは紛失した場合は、大学本部(TEL:043-276-5111(総合受付))にお問い合わせください。

3
月

次学期の面接授業の科目登録申請について

教務からのお知らせ

『学生生活の葉』
(学 部：P.61～)

【次学期に学籍のある方】

上記にある「次学期の科目登録申請」と同時に行ってください。

【今学期で学籍が終了し、継続入学をお考えの方】

2月13日(土)～2月28日(日)に、システム WAKABA(インターネット)で継続入学の出願を行い、同時に面接授業科目登録を行ってください。

ただし、面接授業のみの登録はできません。放送授業またはオンライン授業を1科目以上登録してください。



学生のみならず、快適な学生生活を送っていらっしゃいますか？学習が思うように進まない、孤独な学習に不安を感じている、そんな悩みをお持ちの方、ぜひ学生相談室に足を運んでみてください。岡山学習センターでは、経験豊富な10人の客員教員の先生が学習相談、ミニゼミ、特別セミナーを実施しております。

先生方の専門分野と学習相談担当時間、ミニゼミ、特別セミナー開講日程は下記の通りです。
*学習相談は事前の予約が必要です。ミニゼミ、その他の特別セミナーは予約の必要はありません。(服部先生の特別セミナーは事前申込が必要でしたが、受付を終了しています。)



松本 俊郎 所長

(放送大学特任教授・岡山大学名誉教授)

専門 東洋経済史
植民地経済史

学習相談日時 随時 10:00~18:00

ミニゼミ 現代中国を考える一梶谷懐『中国経済講義』を読みながらー

- 第1回 序章 中国の経済統計は信頼できるか 10/23 (金) 13:30~15:00
- 第2回 第3章 経済格差のゆくえ、第4章 農民工はどこへ行くのか 11/7 (土) 13:30~15:00
- 第3回 第5章 国有企業改革のゆくえ 12/18 (金) 13:30~15:00
- 第4回 第6章 共産党体制での成長は持続可能か、終章 国際社会の中の中国と日中経済関係 2/6 (土) 13:30~15:00

特別セミナー 1930年代の日中経済関係と日中戦争 3/6 (土) 13:30~15:00



栗屋 剛 客員教授

(岡山商科大学教授・岡山大学名誉教授)

専門 生命倫理学

学習相談日時 木曜日 9:30~18:00

特別セミナー 生命倫理への招待(9)「人生最大の恐怖である死について考える」

- 第1回 死の意味論 10/15 (木) 15:10~16:40
- 第2回 死ぬ権利と義務 10/22 (木) 15:10~16:40
- 第3回 死後の世界? 11/5 (木) 15:10~16:40
- 第4回 死の恐怖とその克服 11/12 (木) 15:10~16:40



金関 猛 客員教授

(岡山大学名誉教授)

専門 ドイツ文学
演劇学

学習相談日時 木曜日 13:00~17:00

特別セミナー 能・狂言入門

- 第1回 能の歴史について 10/22 (木) 13:30~15:00
- 第2回 能舞台と能面について 11/26 (木) 13:30~15:00
- 第3回 能の音楽について 12/17 (木) 13:30~15:00
- 第4回 能の鑑賞 2/18 (木) 13:30~15:00
- 第5回 狂言について 3/18 (木) 13:30~15:00



上村 一雄 客員教授

(岡山大学名誉教授)

専門 応用微生物学

学習相談日時 第1火曜日 10:00~17:00
第3火曜日 10:00~18:00

特別セミナー 微生物の生き方

- 第1回 微生物とは 10/20 (火) 13:30~15:00
- 第2回 微生物のエネルギーの獲得方法 11/17 (火) 13:30~15:00
- 第3回 微生物の食物 12/15 (火) 13:30~15:00
- 第4回 微生物の生育環境 2/16 (火) 13:30~15:00
- 第5回 地球環境と微生物 3/16 (火) 13:30~15:00



高橋 純夫 客員教授

(岡山大学名誉教授)

専門 生物学・
内分泌学

学習相談日時 金曜日 13:00~17:00

特別セミナー ホルモンによるからだの制御

- 第1回 ホルモンが作用する細胞 10/9 (金) 13:30~15:00
- 第2回 ホルモンと性(排卵の制御) 11/13 (金) 13:30~15:00
- 第3回 ホルモンと成長(細胞分裂の制御) 12/4 (金) 13:30~15:00
- 第4回 ホルモンとエネルギー代謝(摂食と肥満) 2/5 (金) 13:30~15:00
- 第5回 ホルモンと病気 3/5 (金) 13:30~15:00



久野 修義 客員教授
(岡山大学名誉教授)

専門 日本史

学習相談日時 火曜日 13:00~17:00

ミニゼミ 列島社会と世界史—戦国日本を見なおす—

第1回	世界システム論と日本列島 (第1章)	10/6 (火)	13:30~15:00
第2回	蝦夷地と琉球 (第2章・第3章)	11/10 (火)	13:30~15:00
第3回	ヨーロッパの登場と倭寇世界 (第4章)	12/8 (火)	13:30~15:00
第4回	世界の中の大森銀山 (第5章)	2/9 (火)	13:30~15:00
第5回	「鎖国」を世界史からみる (第6章)	3/9 (火)	13:30~15:00



堀内 孝 客員教授
(岡山大学大学院社会文化科学研究科教授)

専門 社会心理学
認知心理学

学習相談日時 木曜日 13:00~17:00

ミニゼミ 記憶の認知心理学

第1回	情報処理パラダイムと記憶	10/8 (木)	15:00~16:30
第2回	感覚記憶	11/12 (木)	15:00~16:30
第3回	短期記憶と作動記憶	12/10 (木)	15:00~16:30
第4回	長期記憶1 (意味記憶)	2/4 (木)	15:00~16:30
第5回	長期記憶2 (エピソード記憶)	3/11 (木)	15:00~16:30



三浦 健志 客員教授
(岡山大学名誉教授)

専門 環境気象学

学習相談日時 土曜日 13:00~17:00

ミニゼミ 地域防災への取り組み

第1回	防災関連コンテンツについての情報交換	10/17 (土)	14:30~16:00
第2回	地域における防災への取り組みの紹介と意見交換	11/21 (土)	13:30~15:00
第3回	地域における防災への取り組みの紹介と意見交換	12/12 (土)	13:30~15:00
第4回	地域における防災への取り組みの紹介と意見交換	2/6 (土)	13:30~15:00

特別セミナー 岡山の今夏の気象 3/6 (土) 13:30~15:00



清水 光弘 客員准教授
(元川崎医療福祉大学准教授)

専門 発達心理学

学習相談日時 土曜日 13:00~17:00

ミニゼミ 乳幼児の社会性発達

第1回	社会性発達の定義	10/17 (土)	13:00~14:30
第2回	養育の役割1	11/14 (土)	13:30~15:00
第3回	養育の役割2	12/5 (土)	13:30~15:00
第4回	社会性発達の主体としての子ども	2/20 (土)	13:30~15:00
第5回	親子間の双方向的過程としての養育	3/13 (土)	13:30~15:00



服部 美佳 客員准教授
(岡山大学非常勤講師)

専門 英語学

学習相談日時 水曜日 10:00~14:30

特別セミナー 生きた英語への扉 ※事前申込は終了しました。

第1回	シーン 1-2	10/3 (土)	10:10~11:10 または 11:25~12:25
第2回	シーン 3-4	11/14 (土)	10:10~11:40
第3回	シーン 5-6	12/5 (土)	10:10~11:40
第4回	シーン 7-8	2/6 (土)	10:10~11:40
第5回	歌詞、発音	3/6 (土)	10:10~11:40

※感染症拡大や都合により予定が変更になる場合がございますので、事前に学内の掲示やホームページでご確認のうえ、ご参加ください。

退任教員のご挨拶



岡山学習センター客員教授 栗屋 剛

光陰矢の如し。老年さらに老いて、よろず、成り難し。五年の歳月を如何せん。めでたくもあり、めでたくもない定年がやって参りました。いつかはこの日が来るとは思っていました。こんなに早いとは。「つひにゆく 道とはかねて聞きしかど 昨日今日とは思はざりしを（在原業平）」

みなさま、お世話になりました。さまざまな出会いを、ありがとうございました。

An old soldier never die, he simply fades away.<マッカーサーが引用した兵隊歌を改変>

ひと、ひとたび去りて、また還らず（荆軻の句の改変）。「枯木に宿る鳥もなく、ただ、上弦の月、蒼し（ああ我が戦友）」。去る者は日々に疎く、去りて記憶捨う者なし。「別れを惜しむべくもなく、ああ、柳は緑にして、花は紅（後半、上杉謙信）」。諸行無常、ああ無情、と感傷的になるのは去り行く者のみ。

最後に、渾身の一句。それではみなさま、「さようなら、ああさようなら、さようなら」



岡山学習センター客員教授 三浦 健志

暑い寒いはその時が一番。お年寄りが「今年の夏は今まで生きてきた中で一番」と言うのをよく聞きますが、今年は梅雨明けが7月31日と遅く、涼しい気温に慣れた体には梅雨が明けた8月はまさに酷暑。お盆前から9月初めまで暑い日が続きました。8月の日最高気温の平均値は35.6℃とレコード。今年に限って今までで一番は本当でした。このような講義（雑談？）をしながらの教員生活40年余でした。

コロナ禍での貴重な？経験をお話しして挨拶代わりにさせていただきます。先日初めてリモート講義を体験しました。90分×15コマ、3日間の集中講義。学生の反応がつかめず大変難しい講義でした。自宅の2階で、犬に邪魔をされながら、ひたすらノートパソコンに向かって話し続ける。自分の声しかない、説明が筋道立っていないなあと感じながら。今まで経験したことのない疲労感をおぼえました。もし次があればですが、学生の反応はどのみち分からないので、集中（自己陶醉？）してパソコンの画面に向かって、自分がどのように理解していくかをなぞるように語りかける。というようなやり方をしようかと思っています。少し動きながら講義できるような工夫は必要かもしれません。

面接授業、特別セミナー、ミニゼミを通して皆さんと接することができました。今までは教壇を挟んで、これからは同じ側に立って皆さんと勉強を続けられたらと思っています。

今後ともよろしくお願い致します。

行事報告

広報からのお知らせ

令和2年度第1回放送大学・岡山県立図書館連携講座

日時：令和2年9月5日（土）13：30～15：00

場所：岡山県立図書館2階 多目的ホール

講師：岡山学習センター所長 松本 俊郎 先生

演題：中国東北（旧満州鞍山）の鉄鋼業―戦中、戦後における開発、破壊、復興―



～受講生の感想より～

- 製鉄の方法について全く知識がないので、少し難しかったです。しかし、興味深いお話でした。「良いことと悪いことが絡み合って、歴史は進んでいく」というお言葉に何だか安心しました。
- 現代史の肝心の部分がよく分かりました。資料も分かりやすく、理解を助けてくれたことを感謝します。
- 満州の問題は興味深いので、またやってほしい。
- 鞍山市に住んでいました。70年余りを経て、なつかしいものでした。

公開講演会のご案内

*申込方法や内容の詳細、予定の変更等については事前に学内の掲示やホームページでご確認のうえ、ご参加ください。

令和2年度放送大学岡山学習センター公開講演会

令和2年11月18日(水) 13:30~15:00<放送大学岡山学習センター>

放送大学岡山学習センター客員教授 栗屋 剛 先生『演題: コロナと文明—人類への羅針盤—』

新見市学術交流センター図書館・放送大学岡山学習センター連携講座

令和2年11月29日(日) 13:30~15:00<新見市学術交流センター(新見公立大学内)>

放送大学岡山学習センター客員教授 三浦 健志 先生『演題: 新見のお天気—最近の気象と防災—』

津山教室開設十周年記念公開講演

令和2年12月6日(日) 13:30~15:00<津山市立図書館(アルネ津山 4階)>

放送大学岡山学習センター客員教授 金関 猛 先生『備中神楽について—その源流について考える—』

“学習相談”においでんせえ

「学習相談」は、客員教員の先生方と直接お話しできる場です。先生と話してみたいけど、「どんなことを相談すればいいのかわからない」「専門的なことは相談内容がわからない」「資料の準備が必要なのか」とご心配の学生の皆さん、事前準備は不要です。学問の「はじめの一步」として、気軽にお申し込みください。

*一人でも、グループでも可。無料ですが、要予約 【Tel: 086-254-9240】

~例えば、こんなテーマでもOKですよ~

栗屋 剛 先生

- コロナの問題
- 政治の問題
- 生命倫理の問題
- 人生の問題

金関 猛 先生

- 文学、演劇、映画などについて意見交換
- 日本語の小説の読書会
- ドイツ語初歩の学習

上村 一雄 先生

- 微生物について
- 環境と微生物について
- 自然と環境コースについて

高橋 純夫 先生

- 近代自然科学のはじまり
- 概算力のつけ方
- 様々な細胞
- 細胞と細胞の間にあるもの

久野 修義 先生

- 歴史や歴史研究について
- 古文書や歴史資料の読み解き方

堀内 孝 先生

- 心理学の勉強の仕方について
- 心理学の論文の読み方について
- 心理学の学会、資格などについて

三浦 健志 先生

- 気象災害(豪雨災害, ハザードマップの読み方など)について
- 気象環境問題(温暖化をはじめとする気象環境問題)について

清水 光弘 先生

- 子育て
- 発達のみずき
- 心理臨床の仕事
- 児童福祉

服部 美佳 先生

- 効果的な語学の学習方法
- 英語科目や院試のお手伝い
- 児童書や洋書の音読・解釈
- 映画鑑賞から台詞の解釈

*いくつかのテーマを挙げましたが、岡山学習センターホームページでも紹介していますので、参考にしてください。(岡山学習センターHP→スケジュール・授業案内→学習相談一覧)

6月5日（金）に「後楽園をながめよう！」と題して、学外研修（文化施設見学講座）が開催されました。当日は、久野修義客員教授と岡山県郷土文化財団万城あき主任研究員による解説を聞き、後楽園を岡山藩主達の心情に思いを馳せながら見学するという贅沢な時間でした。後楽園は、ハスのつばみや花菖蒲もちょうど見ごろとなっており、素晴らしい見学となりました。



万城主任研究員の解説



久野教授の解説



流店での休憩風景



満開の花菖蒲



久野教授と万城主任研究員

参加学生の感想

後楽園をながめよう！に参加して

自然と環境コース 岸本 斉子



「日本三名園」の一つ「後楽園」を、久野修義教授と岡山県郷土文化財団万城あき主任研究員に解説して頂きながめました（歩いたのではありません）。

当日は、20名の学生が10名ごとのグループになり、お二人の解説を聞きました。

手入れの行き届いた園内は、緑の芝生と、流店前に咲く花菖蒲の紫色、白色に心が洗われる思いでした。今迄にも何度か訪れる事はあったけれど今回の様な解説を受けた経験が無かったので、先人の偉大さを改めて思い知りました。丁寧な解説に理解が深まりました。

解説で印象的だったのは、「岡山藩では池田光政の代から新田開発や主に城下町を洪水から守る放水路の整備に着手していた。綱政の代には旭川河口部一帯に広がる遠浅の海の大規模な干拓計画が起き、より強固な治水が必要になった。貞享4（1687年）綱政は新田開発を一時停止し、後楽園の築庭を命じた。一連の大規模工事は重臣津田永忠が総指揮をし、後楽園は治水と新田開発に伴って誕生したのである。藩主が後楽園

を訪れた時の居間となる延養亭の東には広い芝生、大きな池、園外の景色を庭の景色として取り込む借景を配し、歴代藩主はひと時ここで心を休めた様だ。綱政はこよなく能を愛し能舞台を設えた。」という事でした。解説を聞いていた時、傍にある花葉の池にはハスの葉がみずみずしく水面を飾り蕾たちが今か今かと咲くのを待っていました。ハスの花言葉は「清らかな心」で、ハスが泥水の中から生じて、気高く清らかな花を咲かせることにちなみます。現代で、コロナウイルスの終息を願う私たちの気持ちと歴代の岡山藩主の気持ちがりんくしたようでした。

この時期に少ない定員でも講座が開設され、また参加する事ができ、久野教授と万城主任研究員との贅沢なお話をお聞きする事ができ、非常に大満足いたしました。講師のお二人や、所長・事務長、また、当日塩館を差し入れして下さった学生さん・冷やしタオルを準備して下さった事務職員さんには御礼を申し上げます。

「気象を研究対象として40数年—微気象・蒸発散量を測り続けて—」

岡山学習センター客員教授 三浦健志

「AIってなんだ？ 私たちはどう対応すべきか」

修士選科生 科学わくわくクラブ代表 瀬崎勝二

深層学習効果が際立つ分野で人間を凌駕するデータ解析力を持ち始めたAI、暮らしを豊かにするも、使い方によっては一抹の不安が募ります。多分野の経験者、勉強熱心な学生が集まり討論は沸騰しました。皆さんそれぞれにAIリテラシーを高める糸口を見つけたことでしょう。



学生発表者の瀬崎勝二氏と
司会の河上同窓会長



学生発表者の水川忠久氏



学生発表者の高堂清一氏



コメントーターの小林茂子氏



コメントーターの酒井正樹氏



三浦健志教授

蒸発した水は雲となり雨となり地表に戻ってくる。蒸発は水循環における重要な過程で、蒸発とは何か、そして測定法と推定法について実測値を交えて解説した。

サークル活動で学生支援イベントの主催を担当して

全科履修生 パソコンクラブ 丸山芳和

岡山学習センターでは、12の公式サークルが学生支援イベントを計画して、毎月の例会で皆さんをお待ちしています。今回は、年2回の科目登録サポート講座や、毎月の例会の中でシステムWAKABAの使い方等、パソコン学習に関する悩み相談を受け付けているパソコンクラブから、丸山芳和氏にお話を聞きました。



学生講師の丸山芳和氏



同じく学生講師の石田省三氏

パソコン活用の講座は、利用したい人や問題点を解決したい人には大いに参考になりますが、不慣れな人には受講しづらいものです。より多くの学友の参加を目指し、案内や講義内容を工夫し充実していきたいと思えます。



パソコンクラブの会員数は、岡山SC最大の62名
放送大学の学生は人材の宝庫★と終始メンバーと和やかに過ごす例会の様子



行事をプロデュースするパソコンクラブ代表の分島孝氏

スケジュール

新型コロナウイルス感染拡大予防措置対応のため、予定した行事が延期または中止になることがあります。今後の予定変更は、岡山学習センターのホームページで確認してください。

10 OCT.	月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	

11 NOV.	月	火	水	木	金	土	日
							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30						

12 DEC.	月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			

1 JAN.	月	火	水	木	金	土	日
					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

2 FEB.	月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28

3 MAR.	月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

※カレンダーの 部分 は閉所日です。

岡山学習センターの開所時間

区分	曜日	センター事務室および視聴学習室・図書室
通常期間	火～日	(午前) 9:30～12:00 (午後) 13:00～18:00 ※視聴学習室・図書室は、15:30閉室

閉所日

- ・毎月曜日
- ・国民の祝日に関する法律に定める祝日及び休日
- ・本年度の年末年始休業は、12月26日(土)～1月4日(月)です。
- ・臨時閉所日・・・センターカレンダー記載のほか、災害等により臨時閉所することがあります。

10月

- 1日(木) 放送授業開始
- 3日(土) 大学院 第1次選考(筆記)
- 4日(日) 入学オリエンテーション
- 5日(月) オンライン授業開始
- 10日(土) 入学オリエンテーション
- 17日(土) 面接授業空席発表
- 23日(金) 面接授業追加登録開始

11月

- 8日(日) 大学院 第2次選考(面接)(博士)
- 10日(火) 通信指導提出開始(Web)
- 14日(土)～15日(日) 大学院 第2次選考(面接)(修士)
- 17日(火) 通信指導提出開始(郵便)
- 26日(木) 令和3年度第1学期学生募集開始(第1回)

12月

- 1日(火) 通信指導提出締切(Web/郵送)
- 26日(土)～31日(木) 年末休業

1月

- 1日(金)～4日(月) 年始休業
- 13日(水)～21日(木) 単位認定試験(消印有効)
- 16日(土)～17日(日) 閉所、大学入学共通テスト

2月

- 3日(水) 入構許可申請受付開始
- 10日(水) 入構許可申請受付締切
- 13日(土) 科目登録申請受付開始、
県立図書館連携講座
- 25日(木)～26日(金) 閉所、岡山大学入試(前期日程)
- 27日(土) 科目登録申請受付締切(郵送)
- 28日(日) 科目登録申請受付締切(Web)
- 令和3年度第1学期学生募集締切(第1回)

3月

- 1日(月) 令和3年度第1学期学生募集開始(第2回)
- 7日(日) 閉所、岡山大学電気点検停電
- 12日(金) 閉所、岡山大学入試(後期日程)
- 16日(火) 令和3年度第1学期学生募集締切(第2回)
- 20日(土) 閉所、学位記授与式
- 27日(土) 視聴学習室・図書室閉室(～31日(水))
- 28日(日) 第2学期 学位授与式、
第1学期 入学式